

・項目評価：A＝達成できた（観点評価で「○」が80％以上）
B＝概ね達成できたがやや不十分：観点評価で「○」が60％以上80％未満
C＝未達成であり改善が必要：観点評価で「○」が60％未満

・観点評価：○＝できている △＝一部できている ×＝できていない ※指定された職員が評価回答する

点検項目		評価人数	○の数	○の割合
1.認定日本語教育機関の目的及び目標の達成状況に関する事 担当＝校長 観点評価：職員全員		評価： A・B・C		
観点	① 理念・目的・目標を定め、教職員、生徒等に周知しているか	31人	24個	
	② 目標が達成されたか確認しているか	31人	20個	
	合計 / 項目評価判定	62人	44個	71.0%
2.教員及び職員の組織運営に関する事 担当＝校長 観点評価：職員全員		評価： A・B・C		
観点	① 教職員の人数は基準以上を確保しているか	31人	24個	
	② 教職員の組織や権限、分掌を定め、周知しているか	31人	23個	
	③ 教職員の就業規則を定め、常時確認できるか	31人	20個	
	④ 教職員が学校の理念・目的・目標について共通認識をもつ取り組みがあるか	31人	24個	
	⑤ 教職員の中からコンプライアンス担当者を任命し、周知しているか	31人	13個	
	⑥ 教職員間の情報共有体制があるか	31人	25個	
	⑦ 教職員の緊急連絡体制が整っているか	31人	28個	
	⑧ 教職員は関係諸機関への報告等を滞りなく行っているか	31人	24個	
	合計 / 項目評価判定	248人	181個	73.0%
3.施設及び設備に関する事 担当＝事務を統括する職員 観点評価：本務等教員・事務職員		評価： A・B・C		
観点	① 教室の広さ・照度・換気は十分に確保され、遮音性が保たれているか	10人	10個	
	② 施設・設備は不具合なく安全か	10人	4個	
	③ 保健室があり、寝具等が備えられているか	10人	9個	
	④ トイレの設備は定員に対して十分か	10人	9個	
	⑤ 教育に必要な視聴覚機器・ICT機器が備えられているか	10人	10個	
	⑥ 教員用、生徒用図書は十分に備えられているか	10人	9個	
	⑦ 緊急時に対応するための設備があるか	10人	4個	
	合計 / 項目評価判定	70人	55個	78.6%
4.日本語教育課程の編成及び実施に関する事 担当＝主任教員 観点評価：本務等教員・教員		評価： A・B・C		
観点	① 各課程は「日本語教育機関日本語教育課程編成のための指針」に基づいたものか	27人	26個	
	② 各課程は教育目標達成のために体系的に編成され、その意図が教職員間で共有されているか	27人	21個	
	③ 課程編成について検討・改善が行われる体制があるか	27人	19個	
	④ 授業は学習計画にそって進められているか	27人	25個	
	⑤ 生徒の成績評価基準が明確に示され、適正に評価が行われているか	27人	21個	
	⑥ 試験結果以外による評価方法があり、それを実施しているか	27人	21個	
	⑦ 教員は他の教員と連携し、チームティーチングを行うことができているか	27人	22個	
	⑧ 教員は生徒個々の進路希望や学習状況、評価、成績を把握し、適切な指導に努めているか	27人	19個	
	⑨ 教員は、教材やICT機器を適切に利用して授業ができているか	27人	23個	
	⑩ 教材使用の際、著作権に十分留意し、必要があれば出展を明らかにしているか	27人	20個	
	⑪ 授業の方法について、教員間で共通の認識をもち、授業の質を一定に保つとりくみが行われているか	27人	19個	
	⑫ 教員の授業評価を実施し、スキル向上を図る取り組みがあるか	27人	22個	
	⑬ 教員が研修を受け、授業改善に取り組んでいるか	27人	17個	
	合計 / 項目評価判定	351人	275個	78.3%
5.卒業の認定及び学習の成果に関する事 担当＝主任教員 観点評価：本務等教員・教員		評価： A・B・C		
観点	① 定められた課程修了（卒業）要件教職員と生徒等に共有、周知しているか	27人	19個	
	② 計画的に学習の評価を行い、結果を指導の改善に生かしているか	27人	20個	
	③ 課程修了（卒業）認定者数を公開しているか	27人	21個	
	④ 課程修了（卒業）した生徒について、外部試験結果や進路等の学習成果を公表しているか	27人	19個	
	合計 / 項目評価判定	108人	79個	73.1%

6. 生徒への学習上及び生活上の支援に関すること 担当＝事務を統括する職員 観点評価：本務等教員・教員・事務職員			評価： A・B・C		
観点	① 教職員組織に学習上及び生活上の支援をする体制があり、担当者を周知しているか	31人	23個		
	② 生徒の情報は、常に最新のものに更新するように努めているか	31人	25個		
	③ 生徒が課程を修了するために必要な情報を提供しながら学習支援しているか	31人	23個		
	④ 学習の継続が困難になっている生徒に対する支援・指導体制があるか	31人	17個		
	⑤ 生徒が日本国の法令、日本の文化・習慣について理解するための生活ガイダンスやアドバイスを適宜行っているか	31人	27個		
	⑥ 教職員は生徒の在留資格およびその期間更新時期、資格外活動や出席状況について把握し、適切な助言や指導、情報管理をしているか	31人	23個		
	⑦ 生徒に問題が起きた際、適切に対処し、指導記録や資料を残しているか	31人	22個		
	⑧ 生徒が容易に意思疎通できる言語による相談に対応できる体制があるか	31人	12個		
	⑨ 生徒の住居やその環境整備についての支援体制があるか	31人	26個		
	⑩ 事故や病気などの緊急時に生徒が教職員と連絡がとれる体制があり、周知されているか	31人	25個		
	⑪ 学校行事や体験活動などを通して、生徒が学校生活や日本社会に馴染めるような工夫をしているか	31人	23個		
	⑫ 年1回定期的に生徒の健康診断を実施しているか	31人	28個		
	⑬ 生徒全員が国民健康保険に加入しているか	31人	30個		
	⑭ 感染症発生時の措置を定めているか	31人	26個		
	⑮ 教職員は日常的に生徒の健康に留意しているか	31人	28個		
	⑯ 生徒に十分な進路情報を提供し、進路について相談できる体制があるか	31人	26個		
	⑰ 進路指導担当者が特定され、生徒に周知されているか	31人	20個		
	⑱ 生徒の進学先となる高等教育機関との連携はしているか	31人	25個		
	⑲ 生徒が十分に理解できる言語による支援が可能な体制が整っているか。	31人	14個		
合計 / 項目評価判定		639人	488個	76.4%	
7. 教育活動等の改善を継続的に行う仕組みに関すること 担当＝主任教員 観点評価：本務等教員・教員			評価： A・B・C		
観点	① 定期的に教育活動等について自己点検し、改善する仕組みがあるか	27人	21個		
	② 教育活動等についての点検結果や改善案を外部に公表しているか	27人	15個		
	③ 教育活動等について、地域や連携諸機関等外部からの意見を聞いているか	27人	15個		
	④ 教育活動等について定期的に第三者評価を受けているか	27人	13個		
	⑤ 教職員が教育活動の改善について意見交換する場が設けられているか	27人	23個		
合計 / 評価判定		136人	87個	64.4%	
8. 生徒募集に関すること 担当＝事務を統括する職員 観点評価：本務等教員・事務職員			評価： A B・C		
観点	① 生徒の受け入れ方針が理念・目的・目標に適合するように定められ、学校案内・募集要項に記載されているか	10人	9個		
	② 納付金の設定が適正であり、その内訳と金額が募集要項等に明示されているか	10人	9個		
	③ 授業料の返還規定が定められ、学則等に明示されているか	10人	9個		
	④ 生徒募集活動を適正かつ計画的に行い、学修成果を正確に伝えているか	10人	9個		
	⑤ 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づいて行っているか	10人	9個		
合計 / 項目評価判定		50人	45個	90.0%	
9. 財務に関すること 担当＝経理担当職員 観点評価：事務職員			評価： A・B・C		
観点	① 学校の財務基盤は中長期的に安定し、予算及び収支計画が有効で妥当なものとなっているか	4人	3個		
	② 財務について会計監査が適切に行われ、財務情報を公表しているか	4人	2個		
	③ 入学者の募集や生徒の入学手続の支援等を行う者に対して支払った仲介手数料等の手数料は適正か	4人	3個		
合計 / 項目評価判定		12人	8個	66.7%	
10. 園全・危機管理に関すること 担当＝事務を統括する職員 観点評価：本務等教員・事務職員			評価： A・B・C		
観点	① 災害・事故対応の危機管理マニュアル作成や教職員・生徒の連絡網整備ができているか	10人	4個		
	② 学校で防災訓練や避難訓練、交通安全指導を定期的の実施しているか	10人	10個		
	③ 災害に備え、地域の関係機関や団体と連携し、生徒が居住する地域の防災訓練等への参加を促しているか	10人	5個		
	④ 緊急避難経路等が生徒や職員に周知され、危険物・障害物がない状態か	10人	5個		
	⑤ 防災用品や飲料水・食糧等が備蓄されているか	10人	2個		
	⑥ 校内安全点検や、防犯教育等教職員・生徒の安全対応能力向上の取り組みを、定期的に行っているか	10人	5個		
	⑦ 緊急時、生徒の母国と連絡がとれる体制が確立しているか	10人	8個		
	⑧ 万が一に備え、転校する等の措置がとれる体制があるか	10人	8個		
合計 / 項目評価判定		80人	47個	58.8%	
11. 地域社会における交流などに関すること 担当＝主任教員 観点評価：本務等教員・事務職員			評価： A・B・C		
観点	① 生徒が地域イベントやボランティア活動に参加するなど、国際交流を支援することで、生徒が地域の一員としての自覚をもてるよう指導しているか	10人	8個		
	② 地域の自然や文化財、伝統行事、図書館、博物館、地域の人々などを、教育資源として活用しているか	10人	7個		
	③ 地域に住む人々や企業との交流を行い、生徒の進路指導に生かしているか	10人	7個		
	④ 地域等での交流により、留学生に対する地域住民の理解を深めたり、コミュニケーションスキルを向上させたり	10人	7個		
	⑤ 地域の人々や企業等に向けて、学校行事の情報を発信し、参加を促しているか	10人	7個		
合計 / 項目評価判定		50人	36個	72.0%	

実施責任者	確認年月日	2026年 9月 10日	氏名	西村 久美子
設置代表者	承認年月日	2026年 9月 11日	氏名	植田 敏司